

自主防災ニュース Vol.10

コミュニティ広報紙「ふれあい」でもご報告させていただきましたが、枚方校区自主防災会では昨年秋、心肺蘇生法や AED の使用方法などの応急手当講習を行う有志グループを立ち上げ、枚方市の地域づくりデザイン事業に企画書を出しました。枚方市の審査の結果、補助金を受けることができ、心肺蘇生法訓練用の人形と AED 訓練機を数セット購入しました。

地域の方に気軽に何度でも応急講習を受けていただくための取り組みですので、自治会、老人会、PTA、スポーツ少年団など、さまざまな団体からのお申し込みをお待ちしています。少人数の依頼でもお受けしますので、ご希望の方は自治会長、防災リーダーを通してお問い合わせください。



そもそも AED ってどんな機械???

AED とは、自動体外式除細動器のことです。心臓が細動（細かいけいれんのような動き）している場合のみ心臓に強い電気ショックを与えて心臓の動きを正常な状態に戻す機械です。心停止が原因で人が倒れた際に、1秒でも早くその場にいる人が AED を使うことで、社会復帰できる可能性が格段に上がります。幼稚園や保育園、小学校、中学校はもちろん、銀行やスーパー、コンビニ、駅など、さまざまな場所に設置されています。



応急講習ってどんなことをするの??

人が倒れているのを発見したところから、助けを呼び、胸骨圧迫で心肺蘇生を行い、AED を使い、救急車が到着するまでを学びます。訓練用人形や AED 訓練機を使った実技も合わせて行います。同じ地域や団体、グループの方と一緒に受けることで、目の前で人が倒れる事態に遭遇した時に、みんなで思い出したり話し合ったりしながら適切な救命ができるかもしれません。1年に1回を目安に受講しておくと思えばいいと思います。いざという時に慌てないようにどんどん受講してくださいね！